

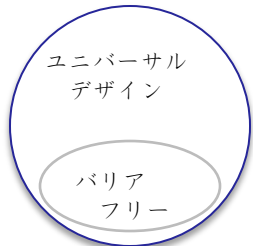
ユニバーサルデザインの観点 で住宅を設計する

少子高齢化社会となった日本では、「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」という言葉をよく聞くようになりました。しかし、「バリアフリーとどこが違うの?」と聞かれると困惑してしまうのではないのでしょうか?

これからの住まいにぜひ考えておきたい

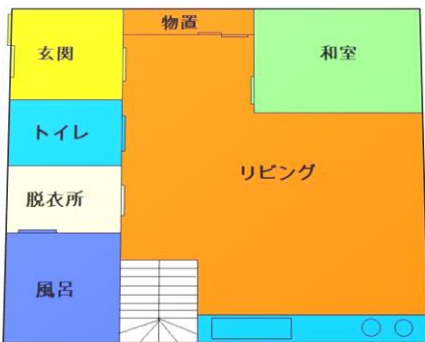
「ユニバーサルデザイン」を私たちは考えてみました。

ユニバーサルデザインと バリアフリーの違い



ユニバーサルデザイン
⇒万人向け

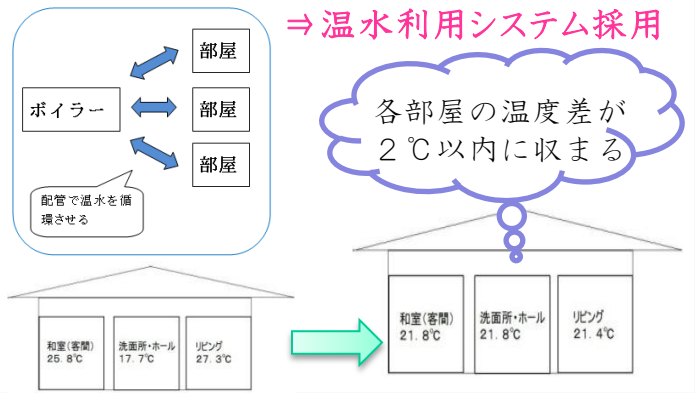
バリアフリー
⇒高齢者や
障害者向け



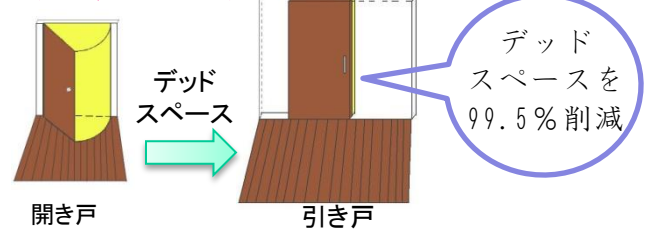
ユニバーサルデザイン住宅に
するために工夫したアイデア

1. 全室床暖房の導入

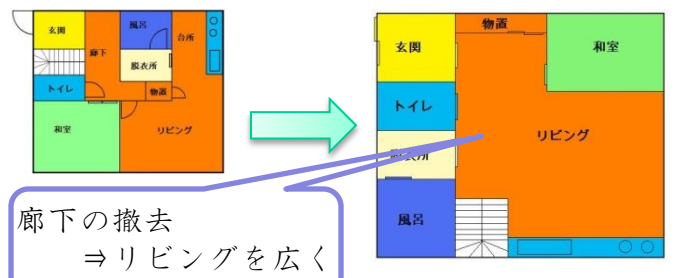
⇒温水利用システム採用



2. 引き戸の採用



3. 歩きやすい廊下⇒廊下の撤去



1. 全室床暖房
⇒温水利用システム
2. 引き戸
⇒デッドスペースの削減
3. 歩きやすい廊下
⇒廊下の撤去

誰もがいつまでも暮らせる
安心・快適・温かい・やさしい
ユニバーサルデザインの住宅

参考文献
野村不動産アーバンネット
平成22年1月27日
<http://www.nomu.com/house/505252/>

一条工務店ホームページ
平成22年2月3日
http://www.ichijo.co.jp/technology/yukadan/ohoyse_temp.shtml

金沢工業大学
2009年度 プロジェクトデザインII

プロジェクトテーマ : ユニバーサルデザインの
観点で住宅を設計する

クラス番号 : EE306
チーム番号 : 2
チーム名 : dynabook
チームメンバー名 : 浅井亮介 佐藤真人
下出均樹 高尾裕史 竹田尚人
担当教員名 : 山川武人